

## まえがき

本書は、2017年から2年間にわたってアジア経済研究所で実施された共同研究会「アフリカにおける女性の国際労働移動」の成果である。この研究会は、サブサハラ・アフリカの女性の国際移動の現状と課題を明らかにすることを目的として発足した。女性の国際移動の社会的、経済的影響については近年関心が高まっているが、アフリカの女性に関する研究蓄積は日本ではまだ少ない。本研究会では、アフリカの女性の国際移動が、グローバル社会・経済にどのように接合されているのか具体的な事例をもとに解明することをめざした。

本書では、アフリカの女性の国際移動の特徴をひとつに収斂させるのではなく、その多様性に着目している。移動先国において移民がおかれた状況や本人の能力だけでなく、アフリカ各国のもつ植民地経験などを含めた歴史的背景、政治・経済状況、そしてジェンダー関係といった要因が、アフリカの女性の国際移動をどのように形成しているのかに注目した。サブサハラ・アフリカのすべての地域や移動形態を網羅することは本書ではできなかったが、6つの事例研究を通してアフリカの女性の国際移動への新たな視点を提示することで、議論を喚起することができれば幸いである。

2年間の研究会活動は、研究会委員による活発で忌憚のない議論が交わされる、刺激に満ちたものであった。研究会は真摯で建設的な意見交換の場として機能し、研究会の成果へと結実することができた。まずは共同研究会委員諸氏に心からの感謝を申し上げたい。加えて研究会の講師として、ウスビ・サコ氏（京都精華大学学長）、小井土彰宏氏（一橋大学大学院教授）からは貴重な知見をうかがった。オブザーバーとして研究会に参加してくださった方々からも有益な助言をいただいた。そして匿名の査読者の方々からは厳しくも貴重なご指摘を受けた。改めて感謝の意を表したい。

2019年9月

編者